

## 子宮頸部胃型腺癌発症原因についての解析に関する研究

### 1. 研究の対象

2015年8月から2023年3月に当院で子宮頸部胃型腺癌、あるいは分葉状頸管腺過形成(LEGH)と診断された方

### 2. 研究目的・方法

胃型腺癌は子宮頸部腺癌の一つですが、化学療法及び放射線療法の効果が限られることが知られています。その癌が生じる前に存在する病変である前癌病変として、LEGHという病気がありますが、超音波検査で頻繁に認められる良性ナボット嚢胞と見分けが付きづらく、子宮頸部の奥にできる病気であることから、検査が困難で、診断が非常に難しいことがあります。そのため、LEGHから胃型腺癌が発生すると考えられていますが、LEGHを確実に診断したり経過観察することは難しいため、この発症経路については不明な点が多くあります。本研究はLEGH及び胃型腺癌の発症機構を明らかにすることによって、困難であるこれら疾患の診断、及び治療戦略の手がかりを得ることを目的としています。

研究機関の長の許可日から2027年3月31日まで本研究を行います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴等

試料：手術や検査で摘出した組織等

### 4. 外部への試料・情報の提供

検体の一部と年齢や病期診断等の臨床情報を匿名化した状態で、大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学へ提供し、大阪大学微生物病研究所遺伝情報解析センターで解析を行います。

### 5. 研究組織

大阪大学 産科学婦人科学教室 小玉美智子

市立貝塚病院 産婦人科 横井猛

新潟大学 大学院医歯学総合研究科産婦人科 吉原弘祐

### 5. データ利用について

本研究で得られた試料および情報は、個人が特定されない形に十分匿名化したうえで、本研究の目的に利用されるとともに、将来の関連研究や科学的知見の再現性確保のために利用される可能性があります。また、本研究で得られたゲノムシーケンスデータ等は、

DNA DataBank of Japan、NCBI Sequence Read Archive、European Nucleotide Archive などの国際的に認められた公的データベースに登録される可能性があります。登録されたデータは、他の研究者が科学研究を進めるために利用されることがありますが、氏名・生年月日・診療記録など、個人を直接特定できる情報は一切含まれません。

本研究への利用を希望されない場合には、下記の問い合わせ先までご連絡いただくことで、データ利用を拒否することが可能です。

## 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 吹田市山田丘 2-2

06-6879-3351 大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室 小玉美智子

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室 小玉美智子